

薬学体験実習

◎体験実習は当日総合受付で配付する「参加券」が必要です。

1回目は9:30から、2回目は12:45から配ります。参加券を受取り後、各実習室にお越し下さい。



大学の実習を体験したい方はこちら

A 一日薬剤師さんになろう!

時間:第1回13時30分~14時30分(所要60分)、第2回15時00分~16時00分(所要60分)
場所:総合教育研究棟フロネシス3階 モデル薬局
定員:各回32名(見学:モデル薬局の待合室にて見学自由)

みなさんは病院でもらった処方せんを薬局へ持っていき、薬剤師さんからおくすりをもらったことはありますか? 処方せんには、おくすりの名前や量、飲み方など、病気を治すために必要な情報がつまっています。薬剤師は、それらの情報を読み取って、患者さんに最も適したおくすり処方が処方されているか? 安全で効果的な飲み方は?などを判断して調剤しています。さあ、今日のあなたは一日薬剤師です。白衣に着替えて、モデル薬局で調剤をしてみましょう。処方せんに基づいて患者さんのおくすりを準備し、それがどんな病気に効くのか調べてみましょう。そして患者さんにおくすりの説明をして記念撮影です。是非トライしてみてください!!



B 軟膏作りに挑戦!

時間:第1回13時30分~14時30分(所要60分)、第2回15時00分~16時00分(所要60分)
場所:総合教育研究棟フロネシス3階 多目的室3
定員:各回40名(見学なし)

軟膏剤は、適切な稠度を有する均質な半固形状に製剤で、皮膚に塗布する外用剤です。その歴史は古く、紀元前3000~5000年頃から用いられていました。軟膏剤は古い剤形ですが、現在でも皮膚科や小児科の治療に広く用いられています。本日は3年生の薬剤基礎実習で行っている「軟膏剤の実習」の一部を体験して頂きます。秤量した薬剤と軟膏基剤を軟膏板の上で全体が均一になるように軟膏ペラを用いて練り込みます。これを軟膏容器に入れて表面を平らに均し、ラベルを貼って出来上がりです。薬剤師業務の一部を体験して下さい。

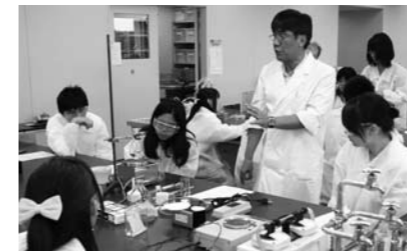


なお、一度に軟膏調製できる人数が限られていますので、空き時間を利用して4年生で実施しているバイタルサイン実習(瞳孔反射、心音、呼吸音、腸音、心電図、脈拍、血圧等)の一部を体験して頂きます。病態により心音、呼吸音がどのように変化するか、患者シミュレーターで再現しますので、聴診器を使って聞き分けて下さい。

C くすりを合成してみよう

時間:第1回13時30分~14時30分(所要60分)、第2回15時00分~16時00分(所要60分)
場所:実習棟5階502実習室
定員:各回40名(見学:10名)

フラスコの中で、いくつかの有機化合物が混ざり合ったら、いったいどんなことが起こるでしょうか? もしそこに、病気に効く物質ができていたらどうでしょう。有機合成は、そんな興味を私たちに与えてくれます。そこで今回は、解熱鎮痛剤として使われていたアセトアニリドを合成します。数種類の無色の液体から白い結晶へと変化する様子を見て、その変化と興奮を体験してみてください。



MEMO